

# 本校における新型コロナウイルス感染症への対策について

2020. 4. 8 福島高校



新型コロナウイルスの感染が拡大しています。感染防止ための学校の対応と、生徒の皆さんに実行してほしいことについては次のとおりです。

## <基本的な感染症対策> “一人ひとりが実行”

### 1 感染源を断つために

「登校前に検温、健康観察（＝自分の体調を確認すること）を実施し、発熱等の風邪症状がある場合には、登校を控え自宅で休養し経過観察を行ってください。」\*この場合の欠席は出席停止扱いとなります。

- 自分の体調を記録しておいてください。（提出は求めませんが、記録用紙例として「健康観察・検温カード」を配布します）

理由 ①普段の自分の体の状態を知ることが、体調の異変に気づくことにつながるから。

②自分や周囲に感染が判明した時、遡った間の体調が治療方法や濃厚接触者の範囲を決める重要な情報になることがあるから。

- 登校前に検温ができず、体調に不安がある場合は保健室で検温・健康観察を行ってください。

### 2 感染経路を断つために

新型コロナウイルス感染症は「飛沫感染」と「接触感染」で感染するので、以下の予防行動が大切です。

「手洗い・うがい」	石鹸を使って指の間まで丁寧に、親指や手首を洗うことを忘れない。 洗い終わったらハンカチ・タオルで拭き取ること。
「咳エチケット」	咳やくしゃみ、心配な症状がある場合にはマスクを着用してください。 →無い場合には保健室へ申し出てください。
+α「菌みがき」	口腔内の細菌から出る酵素により喉粘膜からウイルスが侵入しやすくなります。 菌垢を除去する丁寧な歯磨き方法を実施してください。

他には、

- 昼食は机をつけて食べたり、不要な会話はしないで食べるよう気をつけること。

- 校舎内の多くの生徒が手と触れる箇所（ドア、手すり、スイッチなど）は教員が分担して毎日消毒作業を実施します。

- 昇降口、体育館前にはアルコール消毒液を設置します。

### 3 抵抗力を高めるために

十分な睡眠、適度な運動バランスの良い食事を心がけてください。

（笑いも免疫力を高める効果があります。心配することも多いですがほっとする時間も大切です。）

## <集団感染リスクを下げる> “みんなで協力して実行”

### 1 教室の換気

本校既成の「教室の換気マニュアル」に沿って実施します。授業が終わるごとに5分間、カーテンも開けて換気してください。

## 2 清掃を丁寧に実施すること

使用した特にゴミを毎日捨ててください。（使用したティッシュやマスクから感染が広がることもあるので）手洗い場やトイレなど水回りを清潔に保つことを徹底します。

「換気と清掃は学校生活で常に必要かつ大切なことです。各クラス協力を！」

## 3 授業における配慮

各教科の授業においても近距離での会話や発声等を行うことを避けるようにし、実技指導などにおいては指導順序の変更工夫などを行います。

## 4 部活動において

「3つの密」が発生する恐れが高いため、特に部室の利用や活動の仕方については厳重な注意を払ってください。コップやタオルの共有は厳禁です。体調が優れないときは活動に参加しないことを守ってください。また、参加については本人と保護者の意向を尊重します。当面は練習試合や遠征は自粛とします。



### <情報や周囲に対して> “清らかであれ”

感染者やその周囲に対して偏見や差別につながるような発言や書き込みをしてはいけません。そのためには多くの情報に振り回されず、適切に判断する力が必要です。

家族構成をはじめ一人ひとり置かれている状況は異なるため、感染に対する不安の強さも一人ひとり異なるものです。困っていることがある場合や心と体の調子に不安がある場合、登校に不安を感じている場合などは躊躇せず担任や養護教諭まで相談してください。

感染が判明した場合または濃厚接触者に特定された場合は、学校保健安全法に基づき出席停止の措置となります。その際は速やかに担任まで連絡してください。